

デジタル行政の推進に向けた取り組み

(質問) デジタル行政の推進に向けた本市の取り組みは。また、デジタル化を進める上で、市民に対しスマホ教室の開催やLINEを活用した情報発信も必要ではないか。

(答弁) 令和4年度末までに、子育て・介護関連の手続き、罹災証明書の申請手続きなどが可能になるよう取り組む。デジタル格差解消のため、市民向けのスマホ教室については事業者と協議を進める。さらにLINEの早期導入に向けて取り組む。

その他の質問 ○子育て世帯への臨時特別給付金 ○稲生民俗資料館



幼児教育の推進について

(質問) 幼児教育は、生涯にわたる人格形成や非認知能力の基礎を培う、極めて重要な役割を担うことから、国では、新たに5歳児教育プログラムを、幼保小架け橋プログラムとして令和4年度からスタートさせるとしている。本市でも積極的に取り組むべきである。

(答弁) 本市においても、幼保小架け橋プログラムを参考にしながら、小学校へスムーズにつながられるよう、子ども政策部と教育委員会が連携しながら、幼児教育充実のための取り組みをしっかりと推進していく。

その他の質問 ○外国人児童等の教育



迅速安全な消火活動に向けての取り組みについて

(質問) 火事災害時、迅速安全な消火活動には、①消防水利、②道路が狭隘な地域での消火活動が重要である。①、②の本市の現状と考え、そして今後の体制強化についてお聞きしたい。

(答弁) ①については、各地域の防火水槽など、常時の点検と計画的整備を実施している。②については、署内で情報を共有した上で、日々、技能講習など訓練を重ねている。本市としては、これから到達目標を設定した訓練からなるソフト面と、新消防分署の建設などハード面の強化に向けた取り組みをさらに行っていきたい。



鈴鹿市における随意契約について

(質問) 本市の運用方針は。また、津市のような不適切な分割発注への対応、透明性の確保は。

(答弁) 鈴鹿市における随意契約のガイドラインに沿って指導している。工事および工事に関する業務委託について請負工事等執行部会にて事前に内容などを審査している。契約内容の閲覧公表、鈴鹿市入札監視委員会での調査審議を行い随意契約の透明性を確保している。分割発注については新聞報道の翌日に全職員へ注意喚起した。

その他の質問 ○公共施設の設計におけるプロポーザル方式等の適切な導入 ○鈴鹿市の自転車通行空間



排水機場の耐震調査と建替えについて

(質問) 耐震性のない現白子第3排水機場を白子中央雨水ポンプ場という名称で新たに用地を確保して建て替えることについて、法的手続きの進捗、用地取得の状況はどうなっているのか。

(答弁) 令和3年2月に都市計画決定の告示を行い、同年7月に県から事業認可の告示がなされた。建て替えに必要な土地は3筆、約2,300平方メートルで、地権者にパンフレットを配布し、事業区域内に看板を設置して事業内容を周知した。大切な財産をお譲りいただくため、権利者の意見を伺いながら、事業用地の確保を進めていく。



各委員会での主な議案審査状況、討論および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画をご覧いただけます。

